



平成 26 年 12 月 25 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 カ ヤ ッ ク
住 所 神 奈 川 県 鎌 倉 市 小 町 二 丁 目 14 番 7 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 柳 澤 大 輔
(コード番号：3904 東証マザーズ)
問 い 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 藤 川 綱 司
TEL. 0467-61-3399

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 26 年 12 月 25 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個 別】

(単位：百万円、%)

項 目	平成 26 年 12 月 期 (予想)			平成 26 年 12 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間 (実績)		平成 25 年 12 月 期 (実績)	
		構成比	対前期 増減率		構成比		構成比
売 上 高	2,838	100.0	101.3	1,894	100.0	2,802	100.0
営 業 利 益	153	5.4	70.0	82	4.3	219	7.8
経 常 利 益	150	5.3	69.7	79	4.2	216	7.7
当期(四半期)純利益	110	3.9	83.9	50	2.6	131	4.7
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益	16 円 89 銭			7 円 68 銭		20 円 20 銭	
1 株 当 たり 配 当 金	0 円 00 銭			-		0 円 00 銭	

- (注) 1. 平成 25 年 12 月 期 (実績) 及び平成 26 年 12 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間 (実績) の 1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益 は 期 中 平 均 発 行 済 株 式 数 に よ り 算 出 し て お り ま す。
2. 平成 26 年 12 月 期 (予想) の 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 は、公 募 予 定 株 式 数 (989,000 株) を 含 め た 予 定 期 中 平 均 発 行 済 株 式 数 に よ り 算 出 し て お り ま す。
3. 当 社 は、平 成 25 年 12 月 25 日 付 で、普 通 株 式 1 株 に つ き 1,000 株 の 株 式 分 割 を 行 っ て お り ま す が、平 成 25 年 12 月 期 の 期 首 に 当 該 株 式 分 割 が 行 わ れ た と 仮 定 し、1 株 当 たり 当 期 純 利 益 を 算 出 し て お り ま す。

本資料に記載されている当社の当期の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年12月25日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
 コード番号 3904 URL http://www.kayac.com
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)柳澤 大輔
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理本部長 (氏名)藤川 綱司 (TEL)0467(61)3399
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	1,894	—	82	—	79	—	50	—
25年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	7.68	—
25年12月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、平成25年12月期第3四半期累計期間においては、四半期財務諸表を作成していないため記載しておりません。

2. 当社は、平成25年12月25日付で、普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、平成25年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	1,703	760	44.6
25年12月期	1,806	718	39.8

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 760百万円 25年12月期 718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,838	101.3	153	70.0	150	69.7	110	83.9	16.89

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成25年12月25日付で、普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、平成25年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年12月期3Q	6,525,000株	25年12月期	6,525,000株
26年12月期3Q	—	25年12月期	—
26年12月期3Q	6,250,000株	25年12月期3Q	6,525,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

当社は、平成25年12月25日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。期中平均株式数（四半期累計）は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定してを算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の日本経済は、政権交代後の経済政策・金融緩和政策への期待感から、円高の是正や株価回復の兆しが見られるものの、特にアジア経済の景気減退や消費税増税による個人消費低迷への懸念など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く事業環境としまして、平成25年12月末のスマートフォン保有率は62.6%と過半数を超えるまで拡大しております。また、スマートフォン保有者のSNS利用率は63.3%に達しており、SNSサービスの普及が進んでおります(出所:総務省「平成26年版 情報通信白書」)。インターネット広告市場につきましても、平成25年の市場規模は前年比8.1%増の9,381億円と順調に拡大しております(出所:電通「2013年 日本の広告」)。ソーシャルゲームの国内における市場規模は、平成25年度は5,468億円、平成26年度には6,584億円と、今後も継続した市場の拡大が予想されております(出所:株式会社CyberZ及び株式会社シード・プランニングの共同調査情報)。

このような事業環境の中で、当社は良質なデジタルコンテンツをより多くのユーザーに楽しんで頂けるよう提供し続けております。クライアントワークでは、「『貞子3D2』スマ4D公式アプリ」が、コードアワード(旧モバイル広告大賞)2014 グッド・ユーズ・オブ・メディアを受賞するなど、引き続き高い評価をいただいております。また、ソーシャルゲームは新しいタイトルをリリースしました。Lobiは、ゲームコミュニティとしてLobiを採用して頂けるゲームタイトルを増やすと同時にユーザーに楽しんでいただける新機能を開発することでユーザーを増やしております。

以上の結果、売上高は1,894,068千円、営業利益は82,029千円、経常利益は79,655千円、四半期純利益は50,091千円となりました。

当社の事業セグメントは、単一セグメントであります。取扱サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

①クライアントワーク

当第3四半期累計期間は、スマートフォンの普及や新たな技術の出現に伴い、三井不動産レジデンシャル、トラフ建築設計事務所とコラボレーションし、少し先の未来のワクワクする家をつくった「2020 ふつうの家展」に代表されるように、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件の増加がみられました。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、846,827千円となりました。

②ソーシャルゲーム

当社内製のオリジナルタイトル及び協業タイトルとなるソーシャルゲームを提供しております。平成26年9月に「ぼくらの甲子園!」シリーズの最新作となる「ぼくらの甲子園! ポケット」をリリースするとともに、既存タイトルの収益性向上のため、新たな機能の追加開発やイベント内容の改善を進めました。この結果、ソーシャルゲーム関連の売上高は、715,670千円となりました。

③Lobi

「Lobi」というスマートフォンゲームに特化したコミュニティ事業を進めております。プレイ動画の録画機能をはじめとした機能の拡充につとめるとともに、ビックタイトルを中心に「Lobi」と連携するタイトル数を積極的に増加させております。また、「ニコニコ動画」との連携を開始する等、サービス内容の充実につとめました。この結果、Lobi関連の売上高は、102,852千円となりました。

④その他サービス

当第3四半期累計期間において、音声コミュニティサイト「koebu」について、株式会社サイバーエージェントが設立した事業子会社の株式会社koebuに売却いたしました。その他サービスにつきましては安定的な運営ができております。この結果、その他サービス関連の売上高は、228,718千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は1,243,870千円と、前事業年度末に比べ102,420千円の減少となりました。これは借入金の返済等に伴う現金及び預金の減少が主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は459,171千円と、前事業年度末に比べ1,376千円の減少となりました。これは減価償却費による固定資産の減少が主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は640,127千円と、前事業年度末に比べ3,770千円の増加となりました。これは未払費用等は減少したものの、広告出稿に伴う未払金の増加等が主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は302,708千円と、前事業年度末に比べ149,458千円の減少となりました。これは長期借入金の減少が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は760,206千円と、前事業年度末に比べ41,890千円の増加となりました。これは四半期純利益の発生等が主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績を踏まえた結果、平成26年12月期の業績予想を売上高2,838,687千円(前年同期比1.3%増)、営業利益153,902千円(同30.0%減)、経常利益150,854千円(同30.3%減)、当期純利益110,520千円(同16.1%減)と見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	818,227	506,434
受取手形及び売掛金	431,111	666,528
仕掛品	10,236	8,075
その他	92,417	68,533
貸倒引当金	△5,701	△5,701
流動資産合計	1,346,290	1,243,870
固定資産		
有形固定資産	109,660	97,814
無形固定資産	16,218	13,890
投資その他の資産		
投資有価証券	179,521	186,779
その他	155,148	160,686
投資その他の資産合計	334,670	347,466
固定資産合計	460,548	459,171
資産合計	1,806,839	1,703,042
負債の部		
流動負債		
買掛金	89,394	102,661
短期借入金	52,503	50,000
1年内償還予定の社債	10,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	161,196	161,196
未払金	75,956	135,881
未払費用	116,951	99,648
未払法人税等	30,963	28,700
その他	99,393	57,039
流動負債合計	636,357	640,127
固定負債		
社債	5,000	—
長期借入金	375,142	254,245
その他	72,024	48,463
固定負債合計	452,166	302,708
負債合計	1,088,524	942,836

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,000	235,000
資本剰余金	175,000	175,000
利益剰余金	208,933	259,024
株主資本合計	618,933	669,025
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	99,381	91,181
評価・換算差額等合計	99,381	91,181
純資産合計	718,315	760,206
負債純資産合計	1,806,839	1,703,042

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,894,068
売上原価	1,274,103
売上総利益	619,965
販売費及び一般管理費	537,935
営業利益	82,029
営業外収益	
受取利息	128
受取配当金	924
為替差益	472
その他	702
営業外収益合計	2,228
営業外費用	
支払利息	4,391
その他	211
営業外費用合計	4,603
経常利益	79,655
税引前四半期純利益	79,655
法人税、住民税及び事業税	39,958
法人税等調整額	△10,394
法人税等合計	29,564
四半期純利益	50,091

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しています。